

ジェネリック医薬品

■ 1. ジェネリック医薬品とは？

■ お医者さんで処方してもらったお薬には「新薬(先発医薬品)」と、同じ成分、同じ効果で価格の安い薬「ジェネリック医薬品」があります。

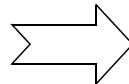
「新薬」として最初に発売された薬は特許に守られ、開発したメーカーが独占的にその薬を製造販売することができます。これが「先発医薬品」です。

ところが20～25年の特許期間が切れると、他のメーカーも同じ成分、同じ効果のお薬を製造できるようになります。これが「ジェネリック医薬品」で、その価格は新薬の2～8割に設定されています。

新薬(先発医薬品)



20～25年は特許に守られている



ジェネリック医薬品



特許期間が切れると他のメーカーも同じ成分同じ効果の薬を製造できる

■ 2. ジェネリック医薬品はなぜ安い？

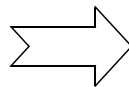
■ 新薬に比べて、開発時間や研究費などが少なくて済むので安い価格が設定できます。

新薬は、その成分から開発し、有効性、安全性を確認後承認されて発売されるため、研究に10～15年かかるといわれ、その費用も150～200億円と莫大です。しかし、ジェネリック医薬品はすでに使われていて有効性も安全性も確かめられた成分ですから、承認までの手続きが少なくなります。開発や研究にかかる時間も金額も少ないので、国が新薬の2～8割の価格に設定しています。

新薬(先発医薬品)



研究に10～15年、費用150～200億



ジェネリック医薬品



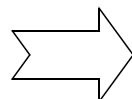
新薬の2～8割の価格

■ 3. 安いのはいいけど、きちんと効くの？

■ ジェネリック医薬品の効果は、先発医薬品と同じです。

ジェネリック医薬品は、すでに先発医薬品の成分の有効性と安全性が確かめられた後に発売されています。また、ジェネリック医薬品は、各種生物試験(生物学的同等性試験)を経て発売されていますので、先発医薬品と同じ効果が期待できます。

新薬(先発医薬品)



ジェネリック医薬品



効果は同じ

■ 4. ジェネリック医薬品を使うメリットは？

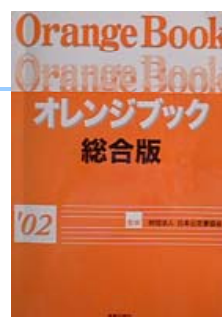
■薬代の負担が減るのはもちろん、医療費の抑制にもつながります。

患者さんの薬代の負担が減り、家庭での医療費の節約に役立ちます。また慢性疾患では、薬代が高いからといって、通院や薬の服用をやめてしまう人も少なくありません。でも、お薬は飲み続けることが大切です。ジェネリック医薬品の使用により、正しい治療を無理なく続けられる環境が整います。そしてひいては高騰する医療費の抑制にもつながります

■ 5. ジェネリック医薬品の安全性は？

■品質を守るために「品質再評価」が行われその結果はいつでも公開されています。

ジェネリック医薬品も新薬と同様に、品質や安全性の規定を守って製造販売されています。さらに1998年からは、従来のジェネリック医薬品の品質を確保するために、品質の再評価が実施されています。その結果は「医療用医薬品品質情報集(日本版オレンジブックと呼ばれます)」にまとめられ公表されています。



■ 6. どうすれば処方してもらえますか？

■まずは、主治医か調剤薬局にご相談ください。

H18年4月からは処方箋に「後発品への変更可」という欄に医師の署名があれば、院外薬局で相談すれば同じ成分でより安い薬(ジェネリック医薬品)に変更ができるようになりました。

